

細江カトリック教会だより

4月号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

はじめまして

去る、4月2日、下関細江教会・彦島教会主任司祭代行として着任いたしました作道と申します。着任が予定されておりました佐々木良晴神父様が、健康上の理由から4月の着任は難しいということで、急きょ、広島の祇園教会で助任司祭を務めておりました私が、代行として派遣されることになったのです。佐々木神父様が健康を回復され、現場復帰が可能となる時まで、力不足ではありますが、代行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

祇園教会で働いたのは僅か2年で、その前の5年間は東京のイエズス会日本管区本部での仕事にあたっておりました。7年前と言えば、2011年、東日本大震災が日本列島を襲った年ですが、それまでは、イエズス会が経営する中高等学校で教鞭を取ったり、学校の経営にあたったりしておりました。従って、教会の司牧の現場で働くことは恥ずかしながら、2年前が初めてのことでした。

祇園教会では、幼稚園の子どもから、自分も含まれる後期高齢者に至るまで、幅広い年齢層の方々と接しながら、ミサを捧げ、聖書をもう一度勉強し直す日々が続きました。あっという間の2年間でしたが、多くの信徒の方々と親しく接しながら、みことばを味わう貴重な時を共有できたことを感謝しております。昨年は四旬節黙想会を細江教会で、今年は彦島教会でお手伝いさせていただいたことは、神様の特別なお計らいかもしれません。

年の割に教会での司牧経験の乏しい自分ではありますが、アブラハムの信仰に倣って、伝統ある下関の教会で、力いっぱい、司祭としての務めを果たして行きたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願ひいたします。

つくりみち そうぞう
作道 宗三 神父



地区だより I

4ヶ月半ぶりに母が戻ってきました。入院中も退院してからも、たくさんの方にお声かけいただき、感謝しています。ありがとうございます。

入院前、時々ご近所の方との交流はあるものの、日中私が仕事に行っている間は、一人家で過ごすという生活でした。今年90歳になるのですが、女学校時代に体操部に所属していたような人です。ベランダの花やテレビと話すくらいで、家にじっとしているというのは、つまらなかったと思います。物忘れもひどくなり、気力もだんだん衰え、自分ができはずと思っていることができず、涙することも多くなりました。介護申請をしてデイサービスに行くのは？と、父のケアマネージャーだった方が勧めてくださいましたが、週に一度ミサに与り、皆さんとご一緒に、お話できる方がいいと言って、介護申請することもなく過ごしていました。そんな中ベッドから滑り落ちて骨折し、リハビリ目的で入院しました。最初は家に帰りたい帰りたいと毎日のように言っていました。同じ病棟で、看護師さんたちから”女子会”と言われるほど仲の良いお友達ができ、たくさん会話するようになると、もともと持っていた好奇心や気力が戻ってきました。そこで入院している間に介護申請し、認定を受けて、退院後は月曜日から金曜日までデイサービスに行くことにしました。ケアマネージャーさんがいろいろ紹介して下さり、姉と何か所か見学し、デイサービス施設を決めました。どこも、消毒のにおいがしたり、病院のようだったり、こんなだったら、家にいた方がいいのかなあと思いはじめたところ、今までと全くイメージの違う施設に出会いました。コーヒーの香りで迎えられます。そ

して皆さんの座っていらっしゃるテーブルの上には、小さなグリーンや生花がさりげなく置いてあります。リハビリ施設も充実しており、何より、施設に通っていらっしゃる方々の表情が明るい。これなら！と思いました。施設の中にはたくさんのおしゃれな手作り作品やお習字などがあります。折り紙にしても、幼稚なものではなく、私も習いたいと思うようなものです。スタッフの方が作られたものか尋ねてみると、それは、施設に通っていらっしゃる方々の作ったものでした。スタッフの方がこうおっしゃいました。

「お年寄りも、認知症の方も、以前はいろいろなことができてたんです。プライドもお持ちです。自分が作ったものをご家族が喜んでくださる、興味を持ってくださるようなものであれば、それが自信につながり、次は何をしようかという気持ちが出てきます。」

あれだけデイサービスを嫌がっていた母も、毎日楽しそうにでかけ、私が帰ると、その日の様子を話してくれます。素敵なおアロマワックスバーも作ってきてくれました。各々が自分のできるところを見つけ、協力しながら過ごしているようです。

最近の母を見ていると、遅いから、できないからと、自分の都合で手を差し伸べたり、自己満足のために介護するのではなく、一人の人として尊敬し、寄り添うことが大切だと思います。まだまだ未熟な私は、時々イライラして、なかなか実行できないのですが・・・。

林 裕子



*細江教会の庭に咲くモッコウバラ

東日本大震災 3/11 (日)



* 日曜日の午後、祈りの集いが行われました。14時46分には鐘の音も加わり、静寂な時が流れ、祈りが続き…ます。

「東日本大震災によって今も苦しい生活を送り、原発事故によって不安な日々を過ごす人々の心を照らし、希望を失うことがないように支えてください。

また、亡くなられた人々には、永遠の安らぎをお与えください。すべてのひとの苦しみを担われたキリストがいつもともいてくださることを、私たちが証しできますように。…」と、願いを込めて…祈りが静かに終わりました。



広島教区司祭・助祭叙階式 3/21 (水)

大西神父さま、司祭叙階おめでとうございます。

私の中ブロの会議で松江教会に行ったときに出会ったクールな大西くんが神父さまになるとは…誰も想像できなかったと思います。

きっと中ブロでたくさんのお恵みを

感じ、東京で晴佐久神父さまと出会い、神様の声を聴き疑わず信じて行動ができたから、今日という素晴らしい日を迎えられたのでしょうか。12年という長い道のりだったようですが、若い神父さまの誕生を一緒にお祝いできてとても感動しました。

開かれた教会、信者の方もそうでない方も同じように神様の愛とお恵みが注がれていることを伝え、神様と私たちを繋いでくれるそんな神父さまだと説教を聴いて感じました。これからも良い架け橋になって下さると信じています。

これからも一緒に叙階された久保助祭やあとに続く神学生の為にお祈り致します。

小村 香織



* 共同司式された神父さまたちが、大西新司祭に按手する。



* 大西新司祭と久保新助祭から、ご聖体を受ける。

出会いと別れ

聖週間と復活徹夜祭 3/29~31

鬱にならない、よかった！



教会で皆さまに初めての挨拶の時に「鬱にならないよう 私のためにお祈りください」とお頼みいたしました。皆さまのお祈りのおかげで、これまでの生活の中で、プレッシャーがたまにありましたが、鬱にならないです。本当によかった！

ところで、「下関に、もう慣れましたか」というご質問を最近よく皆さまに聞かれていました。さらに、「いつまで下関にいますか」をも耳にしているのです。下関の生活に慣れたばかり、もうすぐ下関を出るのです。

こちらで中間期を過ごしてから、一年半の年月が流れました。この場をお借りして、細江教会の皆さま、お一人おひとりに、心からの感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。至らない点多々あった私を、今まで支えてくださって本当に有難うございました。皆さんの心配りのおかげで、楽しく過ごすことができました。細江教会での日々、皆さまと一緒に作り合った出来事を心に刻んで、これから一生懸命生きたいと思います。皆さんとお別れするのは本当に寂しいですが、私も新しい一歩に進んで行きます。きっとまた皆さんとお会いできる日を確信します。心より感謝申し上げます。



トアン



* 聖木曜日「私は仕えられるために来たのではなく、仕えるために来た。」(洗足式)・百瀬神父、信徒の足を洗う。・・・



* 聖金曜日、十字架の顕示。「見よ、キリストの十字架、世の救い。共にあがめ讃えよう」



* 聖土曜日・復活のローソクに火を灯す。



* 復活徹夜祭で、洗礼式。
(紙面の都合により、洗礼者の紹介と復活祝賀会は来月号へ記載いたします。)

